

鳥羽市議会運営委員会会議録

平成29年12月21日

○出席委員（6名）

委員長 世古安秀

委員 戸上健

委員 尾崎幹

議長 浜口一利

副委員長 山本哲也

委員 坂倉広子

委員 坂倉紀男

副議長 木下順一

○欠席委員（なし）

○職務のために出席した事務局職員

事務局長 濱口博也

書記 中山真緒

次長
兼庶務係長 上村純
兼議事係長

(午前11時40分 再開)

○世古安秀委員長 それでは、皆さん、本会議に引き続きお疲れさまでございます。

ただいまから、議会運営委員会を再開いたします。

TOBAミライトークの事後処理について、広報広聴委員会委員長に説明を求めます。

山本委員長。

○山本哲也委員 広報広聴委員会委員長の山本です。

それでは、私から、12月1日に行われました広報広聴委員会で議論しましたTOBAミライトークの事後処理について説明させていただきます。

それでは、皆様のお手元に広報広聴委員会の会議録がございますので、ごらんください。

こちら一読させていただきます。

審議の内容及び結果のところを一読させていただきたいと思います。

1番、TOBAミライトークの事後処理についてということで、報告書について委員長と事務局で修正することに承認（内容は変えず、意味が間違っ伝わらないように修正）ということでございます。

まず、パールビルのことについて、鳥羽市のまちづくりとしてパールビルは非常に大きな問題であると。反対している地権者をひっくり返すには、ほかの地権者にしてもらわなければならないが、その理由づけを市ができないか。鳥羽の玄関口という話ともつながっていく。これはまた報告させていただきますが、あこや会とのミライトークでも出た話でございます。市長が駅前を含めどのような考えを持っているか、一般質問等でやってほしいと。

そして、次、観光客ということで、こちらインバウンドについて。インバウンドや市民の意識について、文教産業常任委員会または議員個人で高山市への行政視察に行けないかということでございます。駅と一番街との連絡通路が危険ということで、まず、正確な権利関係等の把握が必要である。まちづくり整備室に現状の説明を求めているかどうかということと、雇用について、市としても取り組んでいる。空き家バンクを含め、各情報発信の工夫をしていかないといけないのでは。

裏面にいっていただいて、ごみ袋についても多く意見をいただきまして、ロット数やごみ処理に対する費用の問題、ごみ袋の値段を下げて、処理費用はどうするのか。どちらにしても税金になってしまう。なぜ高いのかを議会だよりで記事にする。少子高齢化の取り組み、議会としては、ミライトークを活用して若い意見を聞いていくと。

そして、2番、成人式でTOBAミライトークのチラシを配布することに決定しました。内容は委員長に一任。昨年同様に、成人式実行委員会とのミライトークを行うのかも検討してもらおうよう教育委員会に投げかけておくということでございます。

あと、事務局より今後のスケジュールについての説明を行いました。

報告は以上となりますので、委員の皆様に取り扱いについてご協議をお願いいたします。

○世古安秀委員長 広報広聴委員会委員長の説明は終わりました。

このことにつきまして、取り扱いを協議したいと思います。

ご質問やご意見がございましたらお願いいたします。

戸上委員。

○戸上 健委員 1点お聞きしますけれども、この裏面のごみ袋で、なぜ高いのか議会だよりで記事にするということでした。これは執行部のこういう高いという説明を議会だよりでそのまま書くのか、それであれば、広報とばでええんやないかというふうに思うんですけれども、このごみ袋が高いについては、今でいいという意見も議員の中にあるだろうし、下げるべきだという意見もあるだろうし、議会だよりで記事にするという点で、合意はできたらいいように僕は思います。その点はどうなのでしょう。

○世古安秀委員長 山本委員。

○山本哲也委員 ここもミライトークでは、議員のほうから伊勢市や志摩市のお隣さんとの料金の状況を説明していただいたり、全国的な比較もして、一応女性部さんのほうには、高いんじゃないかというところの中でそういった説明もさせていただきながら、あと、ごみ袋についての、それでもやっぱり高いんじゃないのという声が非常に多く聞かれたところで、委員会のほうで我々として調査じゃないですけれども、調べた上で、何でこの金額なのかということを知ってもらえる必要はまずあるのかなというところで、それについて高い、安いとかというのを我々が言うんじゃないで、料金の仕組みとかそういう部分をまず知ってもらうのが必要なのかなというところで、そういった調査したことを記事にするのもありんじゃないかなというところで、委員会のほうでは話させていただいたように思うんですけれども。

なので、このごみ袋についての値段の設定が、こういう理由でこういう金額になっていますよということを知ってもらいましょうということで、最初は広報とばでもということは話をしたんですけれども、やっぱり我々が聞いてきて我々が調べてということなので、やっぱり載せるのは議会だよりのほうんじゃないかというところで、議会だよりで我々の活動の中身として載せたらどうやというような委員会での話になりましたので、そのように受け取っていただければなというふうに思いますけれども。

○世古安秀委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 意見としてミライトークで出て、ごみ袋が高いという意見が出て、それに対してなぜこう高いのか、こういう現状になっていますという現状報告と、他市の自治体の事例、そういうものを調べて載せるということでしたわね。そうすると、広報広聴委員会の責任で載せるわけだけれども、鳥羽のごみ袋は高いですと、ほかを調べても鳥羽は高いですということになると、引き下げろということになってきますわな。そういう世論をリードすることに僕はなっていくんやないかというふうに思うんですけれども、そこまで議会だよりで踏み込むことの可否について、僕はちょっと異論があるんです。

ごみ袋を市民の間では有料化するときも賛否両論ありました。そこを踏まえて、全体として議会で議題になって、全議員のフリートークで議論をして、そして、その出た議論をそれぞれ抽出して載せるということであれば、僕は異論ないんですけれども、広報広聴委員会が調べた中身を議会だよりに載せるということになると、どうなんだろうという気はするんです。

○世古安秀委員長 山本委員。

○山本哲也委員 すみません、私のイメージとしては、高いよとかというようなイメージでリードするような記事内容というよりは、鳥羽市のごみ袋の、例えばロット数がどうだかという部分で、そのためにこの金額に

なっていますというところにとどめるような。金額の裏づけとかという部分のところでご理解いただくための
というよりは、高いよ、なんで高いのかとかというような形の中身の説明ができればなというぐらいのイメ
ージやったので、委員会の中では、戸上委員のような意見は出ませんでしたもので、その辺は真摯に受けとめ
なあかんかなとは思いますが、思いますが。

○世古安秀委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 さっきの広報広聴委員会の委員長の報告を聞くと、本来であればそういう説明は市民にわかっ
てもらって中身だから、執行部の広報とばで掲載する内容ですわな。議会として議会だよりも、じゃ、ごみ袋が
何で有料かということについて、もっと下げてくれという意見を市民の調査をしていこうというようなことで
あれば、僕は載せる価値があるというふうに思うんだけど、別に執行部の代弁を議会だよりがしてやる必要
は、さらさら僕はないというふうに思っています。

広報広聴委員会として、市民から賛否両論で意見が出ておると、高いという意見も出ておると。ほかのところ
を調べたと、調べた結果こうであったということ載せるというのは、僕はそれは差し支えないというふう
には思っていますが、今のごみ袋がこういう値段になっておる理由はかくかくしかじかですということ
をわざわざ知らせる必要はさらさらない。それは広報とばで執行部がやるべき筋合いのものだというのが僕
の意見です。また議論していただきたいというふうに思います、それは委員会です。

○世古安秀委員長 山本委員。

○山本哲也委員 その辺は逆に、議会からそういう声が上がっておるので、広報として記事にしたらどうやとい
うような投げかけはできるかなと思っていて、そういう方向やったらええかなというところですか。わかりまし
た。ありがとうございます。

○世古安秀委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 現在、過去、未来とやっぱりここに……。

○世古安秀委員長 ちょっとお待ちください。どうぞ。

○坂倉広子委員 先ほど戸上委員が言われたように、経過があると思えます。平成19年の前に、これはごみ
袋の有料化で値段を上げるといったときには、議論されていることだと思うんです。なので、やっぱりそうい
うことの経過も調べながら、私たちが市民の方から高いよということは承ることはもちろんありますので、そ
このところはちょっと慎重に、先ほど戸上委員が言われたように整理していかないといけないかなと思います。

○世古安秀委員長 それでは、また今後、この問題につきましては、またこちらのほうでいろいろと。本来なら
ばこういう問題は、例えば一般質問でこういう金額になっておるのはどうしてなんやとかという当局に対して
の質問をして、もっと上げるということはなかなか難しいですけども、下げるようなことを検討せよとかと
いうふうな、各議員個人が取り上げて、また議員活動に生かしてもらおうというふうなことの一つにもなるんか
なということになりますけれども。ちょっと女性部とのいろんな話の中で、そういう意見が出てきたという問
題提起をしてくれたということですので、広報広聴委員会としても議会としても受けとめて、今後、また各議
員の活動に生かしていく、あるいは、また委員会でも取り上げてするかというふうなところになってくるんか
なというふうに思いますが、思いますが。

○坂倉広子委員 それと、このごみ袋のことになったとき、私もすごくどういうふうでごみ袋が上がったのかと

いうのは、自分なりにしっかり勉強させてもらったんです。そしたら、ひもといていくと、やはり鳥羽市は事業系と個人、一般家庭のごみとがあるということがわかりまして、やっぱりそこからしっかり反対に、私たちも理解をしていくというか、そういうことをちゃんとしていかないと、議員でもやっぱりそういう経過とか結果というのはちゃんと調べていかないといけないかなと思います。

○世古安秀委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 ごみ袋問題につきましては、戸上さんの言うとおりの、執行部のやることを僕らがやる必要はないと僕は思っています。それで、ごみ袋に値段を取ったというのはダイオキシン問題なんです。それはもう平成5年か何かにダイオキシンがいろいろ発生するということで、ダイオキシンが発生しないようなものを、どんどんビニールを入れるんじゃなしに、塩化ナトリウムやったと思います。そうするとダイオキシンが減ると。それで、炉も老化が進まないとか、そういう議論のもとで全国的に一気にダイオキシンを減らすための有料化になったと、僕はそう認識していますので。

ただ、やっぱり住民の方が値段を下げてください、値段を下げてくださいに対して、結果を僕らに求めるんやったらええけれども、この中身の理由の説明までは、本当に戸上さんの言うように執行部の役目なので、そこまで聞いてくると何でもありかと、議員は何でもありなんやということに持ってくるのが、今後、自分らのやっぱり調査や研究、それで、政治家としての答えは結果論やと思いますので、結果を出せるものに関してはやっぱり載せていくべきやと思うけれども、そこら辺については、僕は戸上さんの言うように、やっぱり執行部のやるやつと区別していかないと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それと、もう一ついいですか。

○世古安秀委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 その観光客、インバウンド、市民の意識、文教産業委員会または議員個人で高山の行政視察に行けないかと、これはやっぱりおかみさん会の申し入れなんでしょうか。違うか。

○世古安秀委員長 山本委員。

○山本哲也委員 今回、女性部の報告ということで、観光の話になったときに、女性部さんの中でインバウンドをもっと進めたらどうやという話の流れの中で、高山に行くと住民意識も高いしということで、まちとして一生懸命やっておるよというのを一回見に行ってみてはどうですかというような提案を受けたということから、その辺で我々委員会のほうでもその辺どうなんやろう、行けへんのかなというようなところでこのように書かせていただいたところでございます。

多分、皆さん個人的にはよく行かれているところだと思います。

○世古安秀委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 僕は、もうやっぱり1カ月に一遍は高山に行っておるものですから、大体温泉に入りに行くもので、それがどうのこうのじゃなしに、文教産業委員会で行くという話の根拠は、やっぱり鳥羽市がインバウンドがおくれておるという解釈のもとで行くのならええけれども、高山に右へ倣えというのは、あそこは山のやっぱり特色を使うておると、それこそ海の特色のほうを見に行くほうがいいんじゃないかな、インバウンドを使うならばよ。そこら辺は今後の課題やと思いますので、これを言われた方に行ってきましたという答えではいかんと思うので、結局、鳥羽市のインバウンドの取り組みというものをちゃんと明確に、執行部が出し

てきたものに対して、是々非々でええか悪いかというのを出した中での調査に持っていかないかんのかなと思っていますので、そこら辺も、来年度、文教産業委員会で行けと言うならば、全然1週間ぐらい行ってきてもええと思っていますので、そこら辺はご理解いただいて、皆さんの意見を尊重したいと思いますので、よろしくをお願いします。

○世古安秀委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 関連してですけれども、文教産業の常任委員会で行ってくださいよということと理解してよろしいですか。

○世古安秀委員長 山本委員。

○山本哲也委員 書かせてもらってあるんですけれども、で行くか、または議員個人でということなので、その辺の高山さんの取り組みはどういうことをやっておるかとかというのを、しっかり学んでほしいという声をいただいていますので、それをそのまま上げさせていただいたような格好でございます。

○坂倉広子委員 わかりました。

○世古安秀委員長 よろしいですか。

戸上委員。

○戸上 健委員 インバウンドで高山のさっきの例に関連してなんですけれども、そういう商工会議所女性部の懇談で出たということでしたけれども、その出たときに、議会としてはインバウンドについて、一般質問なり常任委員会でこういう議論を今していますと、高山市についても、実際に一般質問ではこういう現状の説明がありましたと、鳥羽にこういう受け入れてもらえたらいいんじゃないかというようなことが議論になりましたというような説明はなかったんでしょうか、山本委員から。

○世古安秀委員長 山本委員。

○山本哲也委員 私がちょっと記憶しておるところでは、大きな流れとして、観光客が減っている要因は何なんやというような流れのところから派生した中での、そういうインバウンドの取り組みとかというようなところになってきまして、なので大項目としてインバウンドについて話し合ったというよりも、観光客の対策として、これからインバウンドに力をもっと入れなあかんの違うかという中で、そういった話になったように記憶して、そこに対する回答として、戸上委員が言われたように、こういった内容で質問していますよとかというような回答はなかったと思うんですけれども、市としてもこういうことはやっておるというような回答は議員のほうからも出していましたし、商工会議所の取り組みとか、そういった部分のというようなところは話が出ていたように記憶はしています。なので、質問としてこういう質問が出ていますとかというところの具体的なところまでは回答はしていませんでしたけれども、今やっているさまざまな施策なりなんなりについてのこのようなことはあったのではないかなというふうに記憶しています。

○世古安秀委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 わかりました。

今の経過を聞いておって、ミライトークをやった向こう側といいますか、商工会議所女性部が、議会がどうい議論をしておるのかということのを的確にというか、掌握してくれていないなという印象を僕は受けたんです。ですから、インバウンドについても強化してほしい、それから高山を視察してもらったらどうかという意

見が出るのは、議会がそれを余りしていないんじゃないかという前提のもとに、そういう提言といいますか、アドバイスになったと思うんです。

しかし、実際に一般質問でも、インバウンドについては何回、こういう議論を議会としてはしていますと、提案もしていますと。高山市の事例についても、僕も取り上げましたけれども、インバウンドについて、担当職員5人と課長、それで実際に香港や中国やああいうところにも出かけてやっていますと、ぜひそれを学んでくれという議論が議会でもありましたと、そういう意識を議会として持つておるんですということをやっぱり説明せんと、一方的にこういう注文といいますか、何もしていないように受けとめられて注文があると。ですから、文教で視察に行ってくれ、議員ももっと行ってくれということになったんじゃないかというふうに思うんです。そうやないんかいな、これは。

○世古安秀委員長 山本委員長。

○山本哲也委員 今回、ちょっと今までの方式と違った形で、ミライトークの形式自体ちょっと今までやったことのないような形で、対面式でさせていただいたりとかというところがあって、女性部さんの全体的な意見を聞いていますと、戸上委員がおっしゃるとおりの部分も多々あるところがございます。それに対して、我々のほうからも具体的に細かいところまでの説明というのはできていなかったところもあるんですけれども、そのためにも、多分女性部とも話したんですけれども、やっぱり、もっと我々が情報発信の部分においても工夫していかなあかんよねというところは行き着いたところではありますので、やっておるだけでええかといったらそうじゃなくて、その辺もやっぱり気にしていかなあかんのかなというようなところを考えたところがございます。

○戸上 健委員 了解です。

○世古安秀委員長 局長。

○濱口事務局長 すみません、ちょっと補足なんですけど、ここにインバウンドや市民の意識というふうにかかせてもらっているんですけど、私も出席させていただきまして、このインバウンドというのはちょっと関連で触れたような感じのイメージだったんですけれども、どちらかというと市民の意識ということで、まちを歩いていると、食べ物を食べたりすると、そのごみも市民が「私がそれを預かる」という形でとっていくような風潮があるという、そういう意識づけはどのように行政がやったのかなという、やっぱり市民が全体となって盛り上がっておるというのがあって、そこら辺はやっぱり勉強すべきじゃないかというようなことを、ちょっと女性部の方から言われていましたので、そこら辺を見て、行政がどのように進めて、市民がそのように意識づけがされたかというのをちょっと勉強したらどうやというような感じをちょっと言われていましたので、それにインバウンドも含めて、観光でいくんやったら鳥羽もそういうところを見習って勉強したほうがええん違うかなということで出た意見というふうにご理解いただければというふうに思います。

○山本哲也委員 ありがとうございます。

○世古安秀委員長 よろしいですか、戸上さん。

この報告については、議長と副議長もメンバーに入っておりますので、何か議長、副議長のほうから、この会議録の報告につけ加えるような、補足するようなことがありましたら出していただきたいんですけれども、議長。

○**浜口一利議長** 補足というより、戸上委員の言われるように、向こうが大上段に構えて、議員もちゃんとやりなさいよというような雰囲気ではなかったと思います。全体の、いろいろ項目はあったわけなんですけれども、そのような雰囲気的にはそのようなことではなかったけれども、これからやはり出た意見については、議員としても、先ほど委員長が言われたように、一般質問に生かしたりという形というのをやはり起用していただきたいということで、このようなことで目的はそうなんですけれども、雰囲気的には言われるような対決姿勢ということはなかったということだけ報告しておきます。内容についてはいろいろ議論はあろうかと思いますが、以上です。

○**世古安秀委員長** 副議長。

○**木下順一副議長** 内容については、私も特段このままでよろしいかと思えますけれども、このミライトークを今後もこなれていくというんか、場数を踏んで、今回初めての今までなかった方式でやったものですから、こういうのも含めて、やっぱり市民の皆さんとの場づくりを大事にしながら、みんながこなれていく場、もっともと言われたことばかり一方的やなしに、その場でまたいろいろ説明もしながらやっていけるんじゃないのかなと、このように感想します。

以上です。

○**世古安秀委員長** ありがとうございます。

商工会議所女性部との委員会の細かい報告内容については、別添えで各委員のほうへメールで送らせていただいていますので、それを受けて、今後議運の中でどうするかということの項目を挙げさせていただいたということですので、細かい内容については、各議員にメールを送らせている部分をまた参考にいただければいいかなというふうに思います。

ほかに、この件につきましては、ご意見はございませんか。

坂倉広子委員。

○**坂倉広子委員** このパールビルの問題なんですけれども、これは非常に大きな問題でありますので、ずっとこれは問題にされていたことですね。だから、こういう経過というのものもあるわけなんです。いろんな地権者の問題だったりとか、いろいろひもといていくとありましたですね、現状というのがいろいろと。なので、一般質問等やってほしいというのは、皆さん、そこのミライトークは意識されていると思いますので、もう少し今までにいろんな問題が起きておって、鳥羽市としてはすごい認識があったわけですか、以前、木田市長さんのときにも。どういうふうにしていったらいいかということも、以前の議員さんもいっぱい質問もされていたりして、この経過があるので、パールビルの問題の経過。何て言うんですか。

(何事か発言するものあり)

○**坂倉広子委員** そうなんですよ、だから、市のできることと議員としてできること、市長がやらないといけないこととかあると思うんです。だから、そこをどういうふうな、パールビルは一番問題なんだけれども、こういうことで今はこういう理由でできないんだけど、こういうふうにして、今、進んでいますよということは説明をしてあげるとことは大事だと思うんです。

(「それもできひんやろう」の声あり)

○**世古安秀委員長** 議長。

○浜口一利議長 このパールビルの問題が出たときの問いかけというのは、パールビルが廃墟になっていることについて、議会も行政もどのくらい問題視していますかという問いかけだったもので、私もその話をしたんですけども、これまで市としてもいろいろ提案をさせてもらった、また、議会としてもこれまで一般質問でも問題視というのは、当然、同じような思いだと思いますというだけは話はしましたが、本来ですと、当事者がきっちりするべきものであってというような話もしました、それについては。

以上です。

○世古安秀委員長 山本委員。

○山本哲也委員 すみません、実施報告書のほうを先に共有させていただければよかったんですけども、まだちょっとできていないところもありますので。坂倉委員がおっしゃるように、経過とかという部分も全部話した上で、結果としてここにそういうふうに掲載させていただいています。なので、最後の一文かなと思うんです。そこだけ酌んでいただければええかなというふうに思います。

○坂倉広子委員 委員長、わかりました。

○世古安秀委員長 ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

○世古安秀委員長 それでは、この中で委員会で取り扱うとかという項目も出されておりますけれども、それにつきましてご意見いただきたいと思っておりますけれども。インバウンドの高山の視察については、これはもう文教産業あるいは個人で視察をしてもらうということなんですけれども、この項目につきまして、委員会でこれはぜひ取り扱うべきだというふうな、検討するべきだというような項目は。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 これは、なぜ高山がここまでインバウンド、インバウンドと言われるようになったのは、やっぱり中部国際空港ができて、国土交通省の施策の中に昇龍というその影響が一番多くて、やっぱり伊勢志摩のほうには回ってこないという絵が描かれておったわけなんです。それがやっぱり順調よく評価されてしまうたという、国の事業にうまいことお客さんが来てしまったので、ここはやっぱり名物やということになってしまったような流れは僕はあると思いますので、これについて、やっぱり私が見に行ってもうこのよりは、国土交通省へ行って、昇龍から下り龍にしてくれへんかというぐらいの意見は出しに行くほうが、一応東海3県をぐるっと回るような仕組みの絵は、国土交通省の補助金の対象にもなっておったはずですから、それに関してはやっぱり国の施策がみんな平等で公平な施策に変えてもらうようお願いのほうが早いんと違うかなと思っています。

以上です。

○世古安秀委員長 ほかにございませんか。

(「委員会に取り上げてもらう分なんですか」の声あり)

○世古安秀委員長 そうです、そうです。よろしいですか。

今回の上がっていることは、委員会で取り扱うというふうなことじゃなくて、各議員個人に、パールビルの問題にしても議員個人の問題としていろいろ調査研究して、一般質問なりそういうふうなのでしてもらおうというふうなところでしていただいたらいいかなと思いますんで。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 少子高齢化からの取り組みということで、議会としてはミライトークを活用して若い意見を聞いていくと。この若い人らの対象になるのが、鳥羽以外で働いている人らを対象に一遍ミライトークをしてみたらどうかというのは、鳥羽で若い子らが安定しておられるというのは、本当にその人らは仕事、家庭、安定しておるんです。安定していない方が鳥羽から出ていって、よそで仕事して鳥羽へ帰ってきておるという現状をやっぱり知ることによって、鳥羽で安定している若者と、やっぱり鳥羽以外で稼いでこないかんという若者の実態がわかることによって、少子高齢化のやっぱり次につながるよなということになってくると、やっぱり鳥羽には仕事場がないという意見が中心に出てくると思いますので。それやったら、経済活性化がやっぱり一番なんやという意見に私らもなっていくような流れというのは見えてくるんじゃないかなとか。そうなってくると、執行部側に要請するのは、やっぱり地域の活力あるまちづくりが必要じゃないかとか、そういう流れになることが一番大事なかなと思っていますので。

若かったら誰でもいいんじゃないしに、一遍、観光に対してやったら旅館のおかみさんを選んだように、そうなってくると、日曜日以外はないかなと思いつつ、やっぱり鳥羽以外で働いて、鳥羽に住んでいただいている若者にちょっと意見を聞いてみたいかなと思っていますので、そこら辺はそうするほうがより一層鳥羽の現状がわかるんじゃないかと思っています。

以上です。

○世古安秀委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 この出された意見についてどう取り扱うかということの委員長のまとめを、各議員が個人で一般質問なりをして対応するというふうには僕は聞いたんですけども、しかし、例えば、この駅と一番街との連絡通路が危険ということで、まちづくり整備室に現状の説明を求めたらどうかというのがあります。これは、非常に大事な指摘やと思うんです、ミライトークで出されましたから。ですから、これは建設に係るのか、文教産業やな、ここの委員会ですら他の事項ですか、きっちりやっぱり対応しておいたほうがいいと僕は思うんです。

それから、パールビルについても、誰がこれを一般質問するのかというのを、これは皆目わからへんし、いつやるかもわからへんし、人任せやわな。あんたやったらどうやということになるというふうには思うんです。なので、これもやっぱり委員会が責任を持って、ミライトークで出された大事な点で、市民の多くはそう思っござりわけやもので、これ企画やで広子ちゃんところか、総務が所管なんかな。一遍、総務委員会に企画でも来てもらって現状を聞いて、そして委員会としてはこういうことになりましたというのを、ミライトークの質問があった人たちに報告したほうが僕はいいというふうには思うんです。議会としてはこうしましたというのを報告したほうがいいと思うんです。各議員の個々の質問に任せることにしましたというのでは、ちょっと余りそっけないんじゃないかというふうには思います。

○世古安秀委員長 ただいま戸上委員から話がありました1ページ目の下から二つ目の丸のところの一番街と駅との連絡通路の話で、まちづくり整備室に現状の説明を求めてはどうかということと、それから、パールビルの状況についても、駅前を含めた、都市計画も含めたことになるかと思うんですけども、そういうことについて当局の説明を求める、そういう機会をつくったらどうかというふうには考えますけれども、これは担当とし

ては文教産業というところですかね。まちづくり整備室は建設になりますので、そこで一応説明を求めるとか、もしくは全協というふうなところで説明を求めるとかというふうなことになるかと思うんですけども、その辺はどうでしょうか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 やっぱり都市計画法内なので、都市計画で物事を図っていく中にしても、やっぱり絵は描かれていない、個人のものやで描けへんとか、また、問題があると思います。それでなくても、総合計画や中心市街地の活性化とかいろいろなものをあわせ持つと、やっぱりあの地域の開発は必要やという答えにはなるけれども、市としては一つも案は持っていないと思っていますので。あるならば、もう出てきて実施計画にのるとか、いろいろな形、さわりたくても鳥羽市が持っているあのエリアの半分まではいかへんけれども、3分の1はやっぱり個人のもので仮定したときに、そういう委員会を立ち上げた中での議論を執行部として僕らに報告することはできるけれども、今の現状でああやこうやと言うのは、一切聞いたところで答えは出せへんと思うんです。

一つ、太陽光と一緒に、周りの人の同意が必要やとかいう話には絶対なってくると思いますので、そこら辺ちょっと難しいのかなと。

○世古安秀委員長 尾崎委員、それも含めて、今どういう状況になっているんかというふうなところも含めて、委員会のほうで一回当局の説明を求めるというふうなことにしたらどうかなと思うんですけども。

(何事か発言するものあり)

○世古安秀委員長 こういう現状ですよというふうなの報告は、各個人が聞きに行ったらある程度は答えてくれるかと思うんですけども。それはやっぱりミライトークで今回いろいろな声があったということで、委員会として報告を受けるという格好に一回したらどうかなと思いますけれども。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 あそのエリアについて今後どうしたいとかいうよりは、パールビルの個人のものに対しては聞くことはできひんし、また、言うこともできひんと思うんです。ただ、あその組合がどう流れているかということすらも、いうてそれが次の取引とか、今、一番売買の中でもめている中で、市が要らんことを言うてしまったからという話にはならないようには持っていきたいと思っています。結果論で話をするんやったらいいけれども、結果も出てへんのに。

○世古安秀委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 ミライトークで出された意見について、議会としてどう対応するかと、きちんと責任ある報告をするということは僕は大事やと思うんです。ですから、それが先ほど出ておったようなパールビルの問題について、また懸案で暗礁に乗り上げておるという状況であったとしても、議会としてはこういうふうな執行部にただしたと、現状を確認させたと。議会としてはこういう提言をしたという中身でのレベルで構わへんわけだから、結論はなかなか出ないわけですから、それをミライトークで出された、問題提起のあった団体に報告するという事は、僕は最低限するべきやと思うんです。

そうやないと、ミライトークをせっかくやってもらったけれども言い放しで終わったと、個人で聞きおくということになったということになると、今後のミライトークに対する市民の吸引力といますか、対応力と

いいですか、それに僕は陰りが及ぶんやないかというふうに思いますもので、やっぱり誠実に、きちんと一つ一つ出された意見について対応したほうがいいというふうに思います。

○世古安秀委員長 坂倉委員。

○坂倉広子委員 広報広聴委員会のこのなった経過というのは、まず、議員が共有することが大事ということだったと思うんです。なので、戸上委員が言われたように、やっぱり懇切丁寧に受け答えをしていく努力はしていかないといけないと思います。

○世古安秀委員長 戸上委員も坂倉委員もおっしゃるように、ミライトークで出た話をこういうふうに議会としては考えて、こういうふうに今後していきますよというのを、今、まさしくその議論をして、また女性部に対してもこういうふうな処理をしましたよということでの報告を、今まさに議論しているわけですので、先ほど戻って駅前についてはパールビルとか、あるいは連絡通路も含めて、駅前の整備をどうしていくかというふうなことについて、委員会のほうで一度当局の考え方を聞く、現状も含めて考え方を聞くというふうな扱いにしてはどうかと思いますけれども、皆さんどうですか。

(「はい」の声あり)

○世古安秀委員長 委員長、よろしいのかな。文教産業委員会の中でそういう現状と報告を聞くということでもよろしいんですか。

○尾崎 幹委員 それはもう個人的に聞いてもらったらえだけの話で。

○世古安秀委員長 委員会として報告を受けるというふうな……

○尾崎 幹委員 委員会として、個人のもの議論をさせるというのは筋違いやと僕は思っていますので。

(「パールビルは一回外してもらって。駅前をどう考えておるかとかという部分の市長の考えを委員会として一回聞いてほしいという」の声あり)

○尾崎 幹委員 あったら出してきておもうんやけれども。

○世古安秀委員長 議長。

○浜口一利議長 このパールビルについても、聞いている本人の方らも多分よく知っていることだと思うし、この駅前、階段ですか、陸橋、これについても、やはりあの駅前とかエリアをどうするかという話が全く表に出てこないというのが一番の大きな問題やと思うんで、そのあたりにつなげていくのが一番いいと思うんですけども。パールビルを個々にどうするかとかというのはなかなか難しい問題があると思うんで、やはり全体としてどう考えていくかという形の中で、このような改善をしていきますよ、このあたりはこのような形でやっていきたいという思いがあれば市民の方も納得するわけなんですけれども、当然、委員長の言われるように、個人の持ち物に対してどうのこうのというのはなかなかできにくい部分があるもので、エリア全体の中でどう考えていくかという鳥羽市の考え方ということでいったほうがいいかなと思います。

○世古安秀委員長 尾崎文教産業委員長。

○尾崎 幹委員 やっぱり個人の持っておるものに関しては、個人の今後の考え方がある中で、鳥羽市が下手に絵を描く、ここをどうしたい、ああしたいによっては、売りたい値段が上がったりとか下がったりとか、それに影響ない程度なら執行部としても出せると思いますけれども、今、皆さんご存じのように、売るか売らへんかというのをずっと議論されておるわけですね。その部分で、市側のエリアを本当に新しいランドデザイン

ンを持っておるものでこんなになりますと言うたら、それはええ方向にも行くかもわからんし、ただ、鳥羽市としては一度3億5,000万円という数字で買いには行っていますよね。そこら辺までやったら言えるけれども、それ以上の後のことに関しては、一切言うことでもないと思っています。

ただ、あそこのエリア一帯のことについて、計画があるならば出してあげてもええとは思うんやけれども、それが後々という問題にならないように持っていかないかんの配慮やと、行政の配慮が必要じゃないかというのには確かにあると思うので。そこら辺はやっぱり危惧しながらこれを進めていかないかんと思っています。

○世古安秀委員長 それでは、尾崎委員長も見えますので、この件につきましては、文教産業委員会のほうでちょっと検討をさせていただくようお願いをしたいと思います。

それでは、ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

○世古安秀委員長 なければ、その事後処理について、先ほどの件は文教産業常任委員会のほうで検討するということにしたいと思いますので、そういう方向で進めさせてもらうということでご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○世古安秀委員長 異議なしと認めます。

よって、ミライトークの事後処理については、そのように決定いたします。

ご協議いただくことは以上です。

委員の皆さんから何かございましたらご発言を願います。

(「なし」の声あり)

○世古安秀委員長 よろしいですね。

以上をもちまして議会運営委員会を散会いたします。ご苦労さんでした。

(午後 0時28分 散会)

委員長はこの会議録をつくりここに署名する。

平成29年12月21日

議会運営委員長 世古安秀